

# 平成26年度 事業報告書

自 平成26年 4月 1日

至 平成27年 3月 31日

住 所 東京都文京区春日1丁目16番30号

法人名 公益財団法人 講 道 館

# 平成26年度事業報告書

## 【公益事業】

### 1. 青少年を対象とする学校講道館の運営

各種学校に認定されている学校講道館で、生徒の技能、習熟度合いに応じて柔道を技術面と態度面から指導した。技術に関する内容は、基本動作、対人技能、試合と段階的に進めた。態度に関する内容は、特に礼法や相手を尊重する態度、公正な態度、健康・安全に関する態度及び柔道の持つ伝統的な行動の仕方などを重視し指導に当たった。

平成26年度の学校講道館の生徒数について、平成24年度、25年度を挙げて26年度と比較した。

(生徒数の変遷)

(名)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度
柔道普通科	64	69	50
柔道特修科	181	150	140
柔道補習科	39	41	44
柔道研修科	20	19	19
柔道国際科	20	26	24
合計	324	305	277

### 2. 講道館道場における柔道の指導教授

#### (1) 道場における指導

延べ150名を超す指導員・講師を配置し、各科においては、それぞれの対象の実態をふまえた上で、生徒の心身の発育、発達段階や、能力・適性、興味・関心等の実状を考慮し、柔道技術面だけにとどまることなく、礼法や相手を尊重する態度、公正な態度、柔道の持つ伝統的な行動の仕方等を重視して修行者の指導に当たった。態度に関する内容は、柔道が我が国の伝統的な運動文化であるため、特に礼法や相手を尊重する態度、公正な態度、健康・安全に関する態度及び柔道の持つ伝統的な行動の仕方などを重視して指導した。

#### (指導員・講師)

道場における修業者の指導を適切に行うため、道場指導部においては、錬成部指導員(18名)、成年部指導員(29名)、女子部指導員(23名)及び大阪道場指導員(26名)を選任し、学校講道館では少年部講師(21名)、男子部講師(40名)、女子部講師(14名)及び国際科講師(9名)を選任し、各部毎に指導計画、実施方法を定めて技術面、精神面にわたり指導した。特に指導に関しては柔道技術面にとどまることなく、講道館柔道が目的とするところの師範の遺訓の精神に基づいた人間形成、社会貢献を目的とした高邁な理想を目指し礼法や相手を尊重する態度、公正な態度、柔道の持つ伝統的な行動の仕方を留意する態度などを重視して指導にあたった。

#### (稽古時間及び指導時間)

(本館)

ア. 一般稽古

平日 男子 午後 4:00-8:00  
 女子 午後 6:00-7:30  
 土曜 男子 午後 4:00-7:30  
 女子 平日に同じ

イ. 少年指導

午後 4:30-6:00

ウ. 「形」指導

毎月第2・第3土曜日 午後 3:30-5:30

(大阪)

午後6:00-8:00

午後5:00-6:00

(2) 研修会

道場指導員、学校講道館講師に対し、年1回の全体研修会及び各部ごとの研修を実施した。また、道場指導員、学校講道館講師及び柔道高段者の資質の向上と自己研鑽に資する目的で、月1・2回の形研修を実施した。

(3) 暑中稽古及び寒稽古

暑中稽古は、講道館本館において、7月14～23日の10日間（申込者数269名 皆出席者数113名）、大阪国際柔道センターにおいて、7月22～26日の5日間実施した。

寒稽古は、講道館本館において、平成27年1月7～16日の10日間（申込者数292名 皆出席者数178名）、大阪国際柔道センターにおいては、1月13～17日の5日間実施した。

(4) 紅白試合及び月次試合

修行者の上達度合いを確認し修行の励みとするため、紅白試合及び月次試合を行った。

○月次試合 ー 年間15回実施し、合計1,044名の参加者であった。

○紅白試合

春季紅白試合（平成26年6月1日）：男子479名 女子64名 計543名

抜群者 男子2名（貳段→參段2名） 女子0名

秋季紅白試合（平成26年10月5日）：男子500名 女子84名 計584名

抜群者 男子4名（初段→貳段1名 貳段→參段2名  
參段→四段1名） 女子0名

大阪前期紅白試合（平成26年4月19、20日）：男子146名 女子37名 計183名

抜群者 男子3名（初段→貳段1名 貳段→參段2名） 女子0名

大阪後期紅白試合（平成26年12月13、14日）：男子136名 女子37名 計173名

抜群者 男子1名（貳段→參段1名） 女子0名

3. 学校等の柔道指導者による青少年の健全な育成に関する協議会の開催

平成26年8月21日、22日、愛媛県松山市において、全国中学校柔道大会に先立ち、中体連柔道競技部の全国（47都道府県）委員長を対象として、「講道館中学校柔道指導者講習会」を開催し、柔道の教育的、体育的、精神的面から柔道を通じて次代を担う青少年の健全な育成をはかる方策について意見を交換した。また、講道館から講師を派遣し、「中学校における柔道指導者の在り方」「国際柔道連盟試合審判規定の考え方」について講演を行った。

4. 柔道による青少年の健全育成に関する実践報告会及び研究会の開催

(1) 平成26年5月17日（日）に青少年の柔道普及を目的として「少年部錬成発表会」を大阪国際柔道センターで開催した。当日は、幼少年部の練習生・保護者が多数集まり、親睦を図ると共に、日頃の練習の成果を乱取・試合等を通じて披露するとともに、高段者による各種形の演技も行い、充実した催しとなった。

(2) 平成27年2月11日（水・祝）に開催された全日本柔道少年団各地区代表者会議の場において、柔道少年団の組織の強化・活動の充実化の為の具体案や、小学校児童の健全育成の対策等について意見の交換を行った。

(3) 大阪国際柔道センター少年部の12名が本館の「少年柔道夏期講習会」に参加した。

5. 柔道による青少年の健全な育成に関する国内外諸団体との連絡、資料交換及び交流

講道館段位推薦委託団体（110団体）の会長会議を平成27年2月26日（木）に開催した。昇段時費用の新ガイドラインの実施、青少年育成事業の概要、柔道道場、柔道クラブ等の実態調査結果、昇段資格に関する内規の改正について、それぞれ説明を行い、意見交換が行われた。



## 6. 柔道に関する講習会の開催

### (1) 夏期講習会

夏期講習会を平成26年7月17日から8月6日までの間、実施した。

\*附属明細書①参照

### (2) 講道館講習会

正しい柔道の一層の普及発展を図るため、本年度も本館から講師を派遣し（経費は講道館負担）、講道館講習会を実施した。派遣先は計13カ所で、講師の延べ人数は15名であった。

\*附属明細書②参照

### (3) 講道館形講習会

制定された正しい“形”の修得を目指してもらう為に、全国10地区毎に講道館“形”講習会を本年も実施した。派遣先は、今回は10地区(11ヶ所)で、講師は延べ44名であった。

\*附属明細書③参照

### (4) 海外での講道館形講習会

5月15日から20日、トルコ共和国アンタルヤにおいて“形”講習会を実施した。ヨーロッパ柔道連盟が主催する柔道フェスティバルに組み込み実施した。派遣講師は5名であった。

\*附属明細書④参照

### (5) 青少年育成講習会

日本の将来を背負う青少年に、講道館柔道の真の理解と、柔道を通じた心身の健全な育成を目的とした「青少年育成講習会」を全国6カ所で行った。

①伊豆大島（東京都）②講道館（東京都）③旭川（北海道）④種子島（鹿児島県）

⑤大阪講道館（大阪府）⑥宗像市（福岡県）

## 7. 柔道指導者の養成及び海外派遣並びに外国人柔道指導者等の受入れ

### (1) 柔道指導者の海外派遣を、下記の通り行った。

ア. 本館による短期派遣（1ヶ国、2名）

イ. 海外柔道連盟招聘による本館短期派遣（6ヶ国、11名）

ウ. 海外柔道連盟招聘による本館長期派遣（3ヶ国、3名）

エ. 国際交流基金による短期派遣（1ヶ国、4名）

オ. 日本武道館による短期派遣（1ヶ国、7名）

\*附属明細書⑤参照

### (2) 外国人柔道指導者等の受入れを、下記の通り行った。

ア. 平成26年度、本館において修行した外国人は男子64カ国より972名、女子29カ国より194名、合計で64カ国より1,166名であった。

昨年と比べ、国数においては3カ国の減、修行者数では男子167名の増、女子16名の増、全体で183名の増であった。

イ. 本館で受け入れた外国からの団体及びナショナルチームは46団体であった。

ウ. 講道館柔道国際セミナーを下記の通り開催し、海外の柔道指導者を受け入れた。

期間 : ①平成26年9月9日～10月1日 ②平成27年3月2日～3月25日

受講者 : ①モンゴル2名、カザフスタン2名、計4名 ②チュニジア2名

エ. 国際交流基金と共催し、下記の通り、ミャンマーチームを受け入れた。

期間 : 平成27年2月2日～22日

対象者 : 梅津哲也コーチ他役員2名、選手男女各4名

オ. 正しい柔道の普及振興を図るとともに、次世代のリーダーを育成する目的で、海外の青少年修行者グループを講道館に招聘する「ユース教育キャンプ」を開催した。

期間 : 平成26年4月8日～18日

対象者 : 英国柔道協会が選出した21名の柔道クラブ青少年（12歳から18歳）及び7名の指導者

協力団体 : 公益財団法人全日本柔道連盟

カ. その他来館者（デモンストレーション、賓客、取材等）  
ラスコーIJF スポーツ理事  
ブラジル TV Globo の取材

(3) その他、JICA（国際協力機構）青年海外協力隊員に関わる事業等

ア. JICA（国際協力機構）青年海外協力隊員技術補完研修を下記の通り実施した。

期間 : ①平成26年9月9日～10月1日 ②平成27年3月2日～3月25日

受講者 : ①平成26年度3次隊研修生3名 ②平成27年度1次隊研修生7名

イ. 本館における技術補完研修を終了して派遣されているJICA（国際協力機構）青年海外協力隊員  
平成26年度に任期を終了して帰国した隊員は計3名であった。  
平成27年3月31日現在で赴任中の隊員は計15名であった。

ウ. JICA（国際協力機構）シニア海外ボランティア

平成25年度に任期を終了して帰国したシニアボランティアは計3名であった。

平成26年3月31日現在で赴任中のシニアボランティアは計0名であった。

\*附属明細書⑥参照

エ. 柔道器材支援事業

a. 寄贈

講道館柔道器材支援事業として、柔道衣合計122着を寄贈した。

本館道場の畳替えに伴い、ラオスに180枚の畳を寄贈。

b. 提供

支援用柔道衣として、合計36着の柔道衣を提供いただいた。

8. 柔道に関する調査研究

(1) 紀要にまとめる年にあたり、「講道館柔道科学研究会紀要第十五輯」を発刊した。論文は14篇であり、  
領域別には、歴史5篇、技術3篇、生理3篇、指導3篇であった。

(2) 講道館技研究部会は、DVD作成及び柔道用語小辞典の見直し等を行った。

(3) 形部門に特化して「形検討委員会」において各形の留意点作成の為の協議を行った。

(4) 本館職員による形の勉強会を月次試合開始前の時間を利用して実施した。

9. 柔道に関する図書、雑誌等の編集発行

(1) 雑誌「柔道」

講道館機関誌である月刊「柔道」を4月号2,150部、5月号1,800部、6月号2,000部、7月号～3月号各1,650部を毎月1日に発行した。

内容は講道館柔道に関する論説、国内外の主要な大会、講道館行事の報告、講道館主催の講習会、各地だより、全柔連のページ、昇段者、月次試合、科学の頁等であり、広く国内外に配布して柔道の普及発展に寄与した。

10. 柔道に関する文献資料の収集保存及び展示

(1) 資料館

ア. 資料の保存環境の向上

定期的な清掃を行い、資料の保存に適した環境の維持、向上に努めた。

イ. 入館者数 3,488人（前年度比 790人増）

国内男性1,342人、国内女性389人、海外男性1,245人、海外女性512人

総合的学習の一環として来館した学校は以下の1校（事前申請のあった学校のみ記載）

● 埼玉県開智中学校

ウ. 資料収集の促進

寄贈受入 15点



エ. 大会開催日等における休日開館

実施日：全国少年柔道大会合同錬成（5月4日）、全国高等学校定時制通信制柔道大会（8月10日）、千代田区民柔道大会（10月4日）、鏡開式（1月11日）

(2) 図書館

ア. 柔道関係の文献・映像資料の収集・保存・提供

- a. 和書 44冊
- b. 洋書 24冊
- c. 映像資料 26点

蔵書数は和書4,653冊、洋書1,049冊の合計5,702冊となった。

イ. 主要な大会プログラムの収集・保存・提供

受け入れたプログラム数 68点

ウ. 逐次刊行物（雑誌・新聞）の受入

- a. 寄贈
  - ・「柔道」講道館, 85巻4-12号, 86巻1-3号 2014年4-12月, 2015年1-3月
  - ・「月刊武道」日本武道館, 2014年4-12月, 2015年1-3月
  - ・「近代柔道」ベースボール・マガジン社, 36巻4-12号, 37巻1-3号 2014年4-12月, 2015年1-3月
- b. 購入
  - ・「武道学研究」(平成26年度分)
  - ・「体育学研究」(同上)

エ. 柔道に関する調査依頼への対応

問い合わせ件数 63件（研究者、学生、マスコミ関係者、一般等）

オ. 図書館利用者数 631人（前年度比 344人増）

国内男性360人、国内女性62人、海外男性182人、海外女性27人

11. 柔道の国際大会及び国内大会の開催

(1) 皇后杯全日本女子柔道選手権大会

本館と全日本柔道連盟による共催の全日本女子柔道選手権大会は、前年度準優勝者の推薦1名（前年度優勝者は怪我の為欠場）と全国10地区代表34名の計35名により、4月20日横浜文化体育館にて開催された。

(2) 全国柔道高段者大会

4月28日講道館大道場で開催した。全国から八段30名、七段228名、六段450名、五段504名、合計1,212名の参加があった。

(3) 全日本柔道選手権大会

本館と全日本柔道連盟による共催の全日本柔道選手権大会は、4月29日（昭和の日）に日本武道館で盛大に執り行われた。出場選手は、推薦選手として前年度準優勝者（前年優勝者は出場辞退）と前年世界選手権優勝者（優勝者3名の内1名が出場）の2名と全国10地区選出の40名（前年から5名増加）を合わせた計42名であった。

(4) 全国少年柔道大会

第34回全国少年柔道大会は5月5日講道館大道場において開催された。都道府県各1チーム（東京都2チーム）の48チームが参加、試合は団体戦と個人戦（5年生の部及び6年生の部）が行われた。

(5) 全日本柔道形競技大会

本館と全日本柔道連盟による共催の全日本柔道形競技大会は、11月22日に講道館大道場で行われた。投の形・固の形・極の形・柔の形・講道館護身術・五の形・古式の形の7種目が行われ、全国の10地区代表140名、推薦枠5組10名および全国枠6組12名の合計162名により優劣が競われた。

## 12. 柔道の段位認定

### (1) 入門者

本年度の入門者は20,881名で昨年度に比べ762名の減となった。  
過去10年の入門状況は次のとおりである。

年 度	入門者数(名)	前年比(名)	年 度	入門者数(名)	前年比(名)
H17	27,116 (男子) 22,821 (女子) 4,295	+4,445	H22	24,116 (男子) 19,949 (女子) 4,167	+1,877
H18	28,278 (男子) 23,900 (女子) 4,378	+1,162	H23	22,729 (男子) 18,680 (女子) 4,049	-1,387
H19	25,188 (男子) 21,360 (女子) 3,828	-3,090	H24	23,055 (男子) 18,995 (女子) 4,060	+3,266
H20	25,281 (男子) 21,345 (女子) 3,936	+93	H25	21,643 (男子) 17,543 (女子) 4,100	-1,412
H21	23,929 (男子) 19,867 (女子) 4,062	-1,352	H26	20,881 (男子) 16,927 (女子) 3,954	-762

### (2) 外国人入門者(上記(1)の内数)

本年度の外国人入門者は65の国・地域から男子542名、女子111名の合計653名であった。

### (3) 昇段者

本年度の昇段者は合計28,406名で昨年度に比べ1,920名の減となった。  
過去10年の昇段状況は次のとおりである。

年 度	昇段者数(名)	前年比(名)	年 度	昇段者数(名)	前年比(名)
H17	35,728 (男子) 30,682 (女子) 5,046	+6,442	H22	32,241 (男子) 27,161 (女子) 5,080	-3,366
H18	37,888 (男子) 32,705 (女子) 5,183	+2,160	H23	31,940 (男子) 26,833 (女子) 5,107	-3,011
H19	33,635 (男子) 29,224 (女子) 4,411	-4,253	H24	32,333 (男子) 27,181 (女子) 5,152	+3,933
H20	33,934 (男子) 29,194 (女子) 4,740	+2,999	H25	30,326 (男子) 25,197 (女子) 5,129	-2,007
H21	32,577 (男子) 27,706 (女子) 4,871	-1,357	H26	28,406 (男子) 23,413 (女子) 4,993	-1,920

## 13. 柔道の合宿、講習会、大会等参加者のための宿泊・休憩施設の提供

講道館で柔道の合宿、講習会、大会等が行われる場合、参加者及び指導者・運営役員等に対して宿泊や休憩のための施設を安価に提供した。26年度宿泊者は延べ総数9,814人であった(25年度7,988人)。一度の利用人数が数名から数十名と多く、また利用期間が数日から数週間と長期に亘ることもあり、宿泊・休憩施設が道場や会場と隣接していることで効率的・効果的な活動をサポートした。また、健康面、安全面、衛生面でも安心して使用して頂けるよう努力した。

## 【収益事業】

### 14. 物品販売

柔道関係の書籍・ビデオ・DVD、柔道グッズ等の雑貨、カレンダー等の刊行物を販売した。また、登録商標の使用許諾料収入等も得た。概要については下記の通り。

#### (1) 書籍

投の形、固の形、極の形、柔の形、講道館護身術、五の形・古式の形、昇段内規、嘉納治五郎（伝記）、JIGORO KANO AND THE KODOKAN（同伝記英語版）、講道館柔道試合審判規定、激闘の轍、百三十年沿革史、嘉納治五郎著作集（一）～（三）、嘉納治五郎（私の生涯と柔道）、嘉納師範に学ぶ、少年柔道指導法

#### (2) DVD

投の形、固の形、極の形、柔の形、講道館護身術、五の形、全日本柔道選手権大会  
激闘の轍（昭和編）・（平成編）、術から道へ  
ビデオ  
三船十段、鏡開式

#### (3) 雑貨

ネクタイ、タオル、高段者バッチ、キーホルダー、額（大）、額（小）、段マーク、短冊（精力善用・自他共栄）、色紙（精力善用 自他共栄）、額（精力善用・自他共栄）  
師範遺訓額（和文、英文付き、和文〈小〉）

#### (4) 刊行物

カレンダー、絵葉書

#### (5) その他

講道館マーク使用料等

### 15. 貸室・駐車場賃貸等事業

講道館が所有する不動産の一部を店舗、病院、事務所、駐車場等として賃貸した。また、自動販売機等のサービスを有料で提供した。概要については下記の通り。

#### (1) 貸室

講道館本館 7 階	歯科医院
本館 6 階	病院
本館 5 階	事務所
本館 4 階	事務所
本館 2 階	事務所
新館 1 階・地下	物品販売
大阪国際柔道センター 1 階	飲食店

#### (2) 駐車場

講道館	11 台分
大阪国際柔道センター	11 台分

#### (3) 自動販売機、その他（ロッカー、コインランドリー等）サービス



## 事業報告書－附属明細書

### ①夏期講習会

講習名	受講資格	講習の目的	期間	受講者数 (修了者数)
第1部	男子四段、女子三段以上	柔道指導者の資質の向上	7.17～ 7.23	265 (116)
第2部	参段以下の有段者・無段者	柔道修行の基礎の確立	7.25 ～ 7.29	291 (255)
女子柔道	女子柔道修行者	柔道修行の基礎の確立	7.25 ～ 7.28	29 (28)
教科柔道	柔道指導者及び教科柔道指導者	柔道修行の基礎の確立	7.30～ 8.1	30 (29)
少年柔道	少年柔道修行者	指導法の学習	8.4 ～ 8.6	192 (176)
計				807名 (604名)

### ②講道館講習会

	日時	主催	会場	内容	講師
1	2014/5/3(土) 10:00～15:00	福島県柔道連盟	郡山市総合体育館	国際柔道連盟試合審判規定・同少年大会申し合わせ事項の解説	大迫 明伸
2	2014/5/24(土) 9:00～16:00	和歌山県柔道連盟	和歌山柔道会館	国際柔道連盟試合審判規定・同少年大会申し合わせ事項の講習	高橋 健司
3	2014/6/1(日) 9:00～14:00	長野県柔道連盟	勤労者女性会館しなのき	国際柔道連盟試合審判規則、解釈について	川口 孝夫
4	2014/6/22(日) 9:30～15:30	島根県柔道連盟	大田高等学校	「国際柔道連盟試合審判規定・同少年大会申し合わせ事項」の解説と実技指導	天野 安喜子
5	2014/8/21(土) 15:00～17:00	日本中学校体育連盟	愛媛県武道館	中学校における柔道指導者の在り方について	向井 幹博
	2014/8/22(日) 9:00～10:00	日本中学校体育連盟	愛媛県武道館	国際柔道連盟試合審判規定の考え方について	黒田 一彦
6	2014/8/31(日) 13:30～15:00	富山県柔道連盟	県営富山武道館	「基本指導・安全指導」	向井 幹博
7	2014/9/21(日) 10:00～15:30	三重県柔道協会	三重武道館	「国際柔道連盟試合審判規定」の解説、実技指導	大迫 明伸

8	2014/9/23 (火) 10:00~15:00	愛媛県柔道協会	愛媛県武道館	「国際柔道連盟試合審判規定」・同少年大会申し合わせ事項の解説と実技指導	天野 安喜子
9	2014/11/23(日) 10:00~16:00	埼玉県柔道連盟	埼玉県武道館	「投の形」「柔の形」	南保 徳双
10	2014/12/6 (土) 9:30~15:30	札幌柔道連盟	北海道立総合体育センター	固の形	山本 三四郎
11	2015/2/7(土) 10:00~17:00	沖縄県柔道連盟	沖縄市武道場	「国際柔道連盟試合審判規定」の解説と実技指導	大迫 明伸
12	2015/2/8(日)) 15:00~17:00	三多摩柔道会	府中刑務所・樹徳殿	柔道理論	上村 春樹
13	2015/2/11(水・祝) 9:30~14:10	全日本柔道少年団	講道館新館2階教室	柔道講話	鮫島 元成
				柔道を通しての国際交流	藤田 真郎
				少年柔道試合における申し合わせ事項の制定と運用について	岡田 保彦

### ③講道館形講習会

	日時	主催	会場	講師・形			
				投の形	極の形	柔の形	古式の形
1	4月6日 (日)	中国	島根県立石見武道館	投の形	極の形	柔の形	古式の形
				南保 徳双	道場 良久	鮫島 元成	宗 義明
2	5月10日 (土)	東京	東京・講道館	投の形	極の形	柔の形	古式の形
				藤田 真郎	長谷川育男	平野 弘幸	榎 義治
3	5月11日 (日)	東海	静岡市北部体育館	投の形	極の形	柔の形	古式の形
				仮屋 力	片田 誠	尾形 敬史	佐藤 正
4	5月18日 (日)	北海道	千歳武道館	投の形	柔の形	講道館護身術	五の形
				南保 徳双	若松 節子	眞喜志慶治	松下 三郎
5	5月25日 (日)	東北	福島・郡山市西第二体育館	柔の形	講道館護身術	五の形	古式の形
				灰原 茉美	藤田 真郎	榎 義治	福島美智男
6	5月25日 (日)	四国	愛媛県武道館	投の形	極の形	柔の形	古式の形
				向井 幹博	村田 直樹	永井多恵子	醍醐 敏郎
7	5月31日 (土)	近畿	大阪・講道館大阪	投の形	極の形	柔の形	古式の形
				小志田憲一	長谷川育男	灰原 茉美	佐藤 正

8	6月7日 (土)	北信越	新潟県鳥屋野体育館武道館	投の形	固の形	極の形	柔の形
				平野 弘幸	山本三四郎	貝瀬 輝夫	若松 節子
9	6月14日 (土)	九州 (南部)	熊本武道館	極の形	柔の形	講道館護身術	古式の形
				福島 美智男	鮫島 元成	眞喜志慶治	山本 四郎
10	6月14日 (土)	九州 (北部)	福岡武道館	極の形	柔の形	講道館護身術	古式の形
				道場 良久	尾形 敬史	向井 幹博	佐藤 正
11	7月5日 (土)	関東	埼玉県立武道館	極の形	柔の形	講道館護身術	古式の形
				宇津木俊博	永井多恵子	片田 誠	村田 直樹

#### ④海外での講道館形講習会

- 八段 鮫島元成、七段 向井幹博、七段 小志田憲一、女子七段 永井多恵子、五段 仮屋力  
トルコ (EJU フェスティバル形講習会) 平成 26 年 5 月 15 日～20 日

#### ⑤海外派遣

##### ア. 本館による短期派遣

- 八段 佐藤正、六段 山本三四郎  
スリランカ (技術・形指導、昇段試験) 平成 26 年 4 月 1 日～7 日

##### イ. 海外柔道連盟招聘による本館短期派遣

- 八段 宇津木俊博、八段 片田誠、女子七段 永井多恵子  
オーストラリア (OJU 形講習会) 平成 26 年 8 月 20 日～24 日

- 八段 藤田真郎、八段 村田直樹  
スペイン (世界形選手権大会、講習会) 平成 26 年 9 月 20 日～23 日

- 八段 片田誠  
ヨルダン (技術指導) 平成 26 年 10 月 10 日～11 月 11 日

- 女子七段 山崎立実、六段 岩村 衡  
香港 (審判・コーチングセミナー) 平成 26 年 10 月 25 日～10 月 26 日

- 七段 向井幹博  
ハンガリー (IJF アカデミー) 平成 26 年 12 月 9 日～19 日

- 八段 藤田真郎、七段 平野弘幸  
スペイン (IJF 審判セミナー視察) 平成 27 年 1 月 30 日～31 日

##### ウ. 海外柔道連盟招聘による本館長期派遣

- 四段 千原慎太郎  
中国 平成 26 年 4 月 1 日～29 年 10 月 1 日

- 参段 梅津哲也  
ミャンマー 平成 26 年 8 月 1 日～27 年 6 月 30 日

- 八段 加瀬次郎  
マカオ 平成 27 年 1 月～12 月



エ. 国際交流基金による短期派遣

○八段 高橋政男、八段 岡田弘隆、五段 後小路裕朗、五段 金岡真司  
ロシア

平成 26 年 11 月 10 日～25 日

オ. 日本武道館による短期派遣

○八段 山下泰裕、八段 細川伸二、七段 三戸範之、七段 向井幹博、六段 内村直也  
六段 小山昌紀、六段 小塚義隆  
ロシア

平成 26 年 11 月 5 日～11 月 12 日

⑥ J I C A (国際協力機構) 青年海外協力隊員に関わる事業

ア. J I C A (国際協力機構) 青年海外協力隊員技術補完研修を下記の通り実施した。

期間 : ①平成 26 年 9 月 9 日～10 月 1 日

②平成 27 年 3 月 2 日～25 日

受講者 : ①平成 26 年度 3 次隊 3 名

参段 清水龍一 (ネパール)

参段 平川将康 (タンザニア)

参段 江波戸涼介 (タンザニア)

②平成 27 年度 1・2 次隊 7 名

参段 関口裕喜 (ガボン)

参段 小林大起 (チリ)

参段 射手矢弦太 (パナマ)

参段 江口吹樹 (サモア)

参段 水野泰晴 (マダガスカル)

式段 村山寛 (ラオス)

式段 松本慎平 (パラグアイ)

イ. 本館における技術補完研修を終了して派遣されている J I C A (国際協力機構) 青年海外協力隊員

平成 26 年度に任期を終了して帰国した隊員 (計 3 名)

参段 梅津哲也 (ウズベキスタン)

参段 金盛友彦 (ガボン)

参段 小城貴洋 (ドミニカ共和国)

平成 27 年 3 月 31 日現在で赴任中の隊員 (計 15 名)

参段 長谷川靖 (ペルー)

参段 勅使瓦慧 (インド)

参段 山崎将太 (ブルキナファソ)

参段 中村俊文 (インドネシア)

女子参段 鈴木祥子 (ラオス)

女子参段 秋山日向子 (ヨルダン)

参段 堀内芳洋 (ブータン)

参段 狩野貴大 (ペルー)

参段 門脇直生 (ウズベキスタン)

参段 飯塚佑 (ボツワナ)

参段 森田直也 (モンゴル)

女子参段 星山幸美 (モンゴル)

参段 清水龍一 (ネパール)

参段 平川将康 (タンザニア)

参段 江波戸涼介 (タンザニア)

ウ. J I C A (国際協力機構) シニア海外ボランティア

平成 26 年度に任期を終了して帰国したシニアボランティア (計 3 名)

七段 山縣住雄 (エルサルバドル)

四段 小山繁 (エジプト)

六段 菊池正敏 (アルゼンチン短期)

平成 27 年 3 月 31 日現在で赴任中のシニアボランティア (計 0 名)